

一材型ポリマーセメントモルタル

NEXSUS

ネクサス

〈東・中・西日本高速道路株式会社編著「構造物施工管理要領」記載「左官工法による断面修復の性能照査項目」の性能試験完了材料〉

NEXSUSは、適量の水を加えて練混ぜるだけで使用できる、一材型のポリマーセメントモルタルです。NEXSUSには、適度に粒度調整した細骨材、特殊混和材が含まれていますので、左官・吹付け工法のいずれでも施工が可能です。特に大面積の場合は、吹付け施工で行なう事で大幅な工期の短縮が図れます。

▶ 特 長

- 繊維を配合していることでダレ難く、追い掛けて塗り重ねることにより厚付ができ、またひび割れ抵抗性にも優れています。
- 安定した、高い圧縮強度および曲げ強度を発現します。
- コンクリートとの接着性が良好です。

▶ 用 途

- コンクリート構造物の欠損部の断面修復

▶ 製品概要・標準配合

- NEXSUS・パウダー 荷姿:25kg/袋

■ 標準配合

NEXSUS	25kg(1袋)
清水	3.25~4.00kg(標準3.5kg)

■ 1m²当りの標準使用量(清水3.5kg/袋の配合)

NEXSUS	1,875kg(75袋)
清水	263kg

1) 練り混ぜ水は、施工時の気温や施工方法により変動します。したがって、標準配合の範囲内で調整して下さい。

2) 使用水量3.5kg/袋により算出した数値です。

▶ 1袋当りの練り上がり量 約13.3ℓ

▶ 性能例

試験項目	規格値	試験結果	試験方法
硬化収縮	1時間以上	1時間以上	JIS R5201
断面修復材の外観(塗装無し)	均一で、われ、はがれふくれ、 のないこと	均一で、われ、はがれふくれ、 がない	JIS A6909
硬化収縮性(%)	0.05以下	0.047	JIS A1129-3
熱膨張性(×10 ⁻⁵ /℃)	2.0以下	1.1	JIS K6911
コンクリートとの 付着性 (N/mm ²)	標準時	2.3	JIS A6909 [基板にはJISA5304に 規定するコンクリート平 板(N300)を使用]
	湿潤時	2.2	
	耐アルカリ性試験後	2.3	
	温冷繰返し試験後	2.2	
圧縮強度(N/mm ²)	設計基準強度以上	51	JIS R5201 (20℃気中養生)

● 上記データは標準配合時の試験結果です。また、厳密に管理された試験室内にて実施されたデータであって、現場においては異なる数値を示す場合があります。

▶ 施工概要

- ① 劣化あるいは脆弱化した部位を、はつりあるいは高圧水で完全に除去し、健全なコンクリート面を露出させて下さい。
- ② コンクリート面は十分に清掃して、埃や汚れを取り除いて下さい。
- ③ 鉄筋が発錆している場合には、防錆処理を施して下さい。
- ④ 施工面には適切なプライマーを塗布して下さい。
- ⑤ モルタルを練混ぜる際、過度の練混ぜによる泡の巻き込みすぎに注意して下さい。
- ⑥ 練混ぜ量は、作業体制、環境条件等によって調整し、一度に大量のモルタルを練混ぜないで下さい。
- ⑦ 練り上がったモルタルを左官工法・吹付工法で施工して下さい。
- ⑧ 1層めの塗り厚は約5mm程度とし、下地に密着するように施工して下さい。その後の塗り重ねは追いかけて下地となじむように行って下さい。
- ⑨ 最終仕上げは、モルタルが締まった後に、金ゴテ仕上げを行なって下さい。補修後は急激な乾燥を受けないよう、シート等を用いて養生を行なって下さい。
- ⑩ 詳細は、施工要領書をご参照下さい。

使用上の留意事項

- 練り混ぜには、水道水またはそれに準ずる清水を用いて下さい。
- 欠損が大きいなどはく落の恐れがある場合は、鉄筋の設置、アンカー、メッシュの取り付け等のはく落防止対策を行って下さい。
- 外気温が5℃以下の場合は、作業を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、シート等の覆いの他、ヒーター等の保温措置を講じて下さい。
- 施工中および施工後早期に強風、日射、降雨、降雪等の影響を受ける恐れがある場合は、シートで覆う等の養生を行って下さい。
- 練り混ぜには、アルミニウム製の羽根は絶対に用いないで下さい。
- NEXSUSの保管は、雨露等がかからず湿気の少ない場所を選び、パレット等を敷いて床面から離れた状態で、ビニールシート等で覆って下さい。
- 廃棄する場合は、硬化後に産業廃棄物として処理業者に廃棄をご依頼下さい。
- 排水等は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に従って廃棄して下さい。

安全上の注意事項

- 本製品はカタログに記載されている方法でご使用下さい。
- 本製品はセメントと同様にアルカリ性を示します。使用の際は、眼、鼻、皮膚及び衣類に触れぬよう保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用の上ご使用下さい。
- 誤って眼に入った場合は、直ちに清水で充分洗浄した後、医師の治療を受けて下さい。
- 皮膚に付着すると肌荒れを起こすことがありますので、直ちに水洗いして下さい。
- 作業後は手洗い、うがいをして下さい。
- 詳細な内容が必要な場合は、製品安全シート(MSDS)をご参照下さい。

このカタログの記載の諸性能および諸物性は、環境条件や使用条件などによりカタログと異なる結果を生じることがあります。十分にご検討の上、ご使用頂きますようお願い申し上げます。このカタログの記載内容は、予告無しに仕様や取扱いを変更することがありますので、ご了承下さい。

 **太平洋マテリアル株式会社** <http://www.taiheiyo-m.co.jp>

営業本部 機能性材料営業部

〒135-0064 東京都江東区青海2-4-24 青海フロンティアビル15階 TEL.03-5500-7512

北海道支店	〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 日本生命北門館ビル	☎ 011-221-5855
東北支店	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 大同生命仙台青葉ビル	☎ 022-221-4511
東京支社	〒135-0064 東京都江東区青海2-4-24 青海フロンティアビル15階	☎ 03-5500-7531
関東支店	〒330-0843 埼玉県さいたま市大宮区吉敷町4-262-6 ニューセンチュリービル	☎ 048-614-8470
中部支店	〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18 名古屋KSビル	☎ 052-452-7141
関西支店	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 新大阪丸正ビル4階	☎ 06-7668-6001
中国支店	〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 三井生命広島駅前ビル	☎ 082-261-7191
四国支店	〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル	☎ 087-833-5758
九州支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル	☎ 092-781-5331